

技術業績賞を受賞して



廣田 和生
三菱重工業

このたびは、機械力学・計測制御部門の技術業績賞を賜り、深く感謝申し上げます。

私は、1992年に三菱重工業（株）の研究所に入社して以来、約30年間にわたり、加圧水型軽水炉や高速炉などの原子力発電所、火力発電所、化学プラントなどのプラント機器の流体関連振動や耐震評価に関する研究を行ってきました。これらの研究が今回の受賞につながったことをとても嬉しく感じております。

この賞は、決して私一人の力ではなく、上司や設計部門の方々の指導や同僚、関連・協力会社の方々の協力のおかげで受賞できたと思っております。また、若いうちから比較的大きな研究プロジェクトを任せてもらえたことにも大変感謝しております。

現在、カーボンニュートラル社会の実現に向けて様々な取り組みを行っております。その中でも原子力は脱炭素のベースロード電源としての重要な役割と位置づけられ、次世代革新炉や高速炉等の開発を進めており、流体関連振動や耐震評価に関する研究の重要性がますます高まっています。今後もこれらの研究を通じて機器の信頼性向上に貢献するとともに、機械力学分野の研究の発展のために尽力しますので、今後ともよろしく申し上げます。

このたびは、誠にありがとうございました。